

於:若手教員研修会@高美が丘小学校
日時:2024年12月16日(月)15:40-16:00

学級・学校を越境した 新たな「学びのカタチ」 ～東広島市からはじめませんか?～



広島大学

発表・提案者：川本 吉太郎
(広島大学大学院人間社会科学研究科・特任助教)



川本 吉太郎 (かわもと よしたろう)

所属: 広島大学大学院人間社会科学研究科・特任助教 (1年目 🐣)

専門: 教育行政学, 教育制度論, 通信制高校

研究テーマ: 「非通学」による高校教育機会保障

学校現場での経験:

- ・中高の専修免許状 (国語科)
- ・学校法人角川ドワンゴ学園 (N・S高) のインターン (4年間)
- ・風早小学校の放課後学習支援員
- ・広域交流型オンライン学習への参加



結論先取り!
本日, 伝えたいメッセージ

◎お伝えしたいメッセージ

東広島市の学校教育（とくに小学校）は、
新たな「学び」に対する**チャレンジの場**
としての可能性に溢れている!!!

◎お伝えしたいメッセージ

東広島市の学校教育（とくに小学校）は、
新たな「学び」に対する**チャレンジの場**
としての可能性に溢れている!!!

- ▣それは**なぜなのか**を国の政策動向から解説、
東広島市の最新（先進）事例を紹介!

新たな「学びのカタチ」
とは、一体なんなのか？



・・・イマイチ分からないので、
文科省の最新の議論を見てみよう！



新たな「学びのカタチ」って・・・？

◎中央教育審議会「義務教育の在り方ワーキンググループ（中間まとめ）」 （2023年12月28日発出）に注目！

義務教育の在り方ワーキンググループ

中間まとめ

令和5年12月28日

中央教育審議会初等中等教育分科会
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた
学校教育の在り方に関する特別部会
義務教育の在り方ワーキンググループ

目次

I. はじめに	1
II. 義務教育の意義を踏まえたこれからの学校の在り方に関する基本的な考え方	4
1. 義務教育を取り巻く状況	4
(1) 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた改革の方向性	4
(2) 義務教育を取り巻く今日的な課題	4
①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響	5
②児童生徒の指導上の様々な課題	6
③質の高い教師の確保のための環境整備	7
④情報化の加速度的な進展と学校における変化	8
2. 義務教育の意義を踏まえたこれからの学校の在り方に関する基本的な考え方	9
(1) 我が国における学校の意義・役割の歴史的経緯	9
(2) 義務教育の目的と学校の役割	10
(3) 日本型学校教育の強みと弱み	12
(4) 目指すべき義務教育・学校教育の姿及び取組の方向性	13
①義務教育の中核としての学校教育の役割	13
②公教育としての共通性の担保と多様性の包摂	13
③児童生徒と教師が集い、共に学び、生活する場としての価値の最大化	14
④生涯学習社会を生き抜く自立した学習者の育成	16
⑤義務教育の目的を達成するための創意工夫の発揮	17
⑥公教育を支える学習基盤に係る一体的な検討・充実	18
III. 学びにおけるオンラインの活用	19
1. 基本的な考え方	19
2. 必要な方策	21
(1) 義務教育におけるオンラインを活用した学びの充実のための取組	21
①義務教育段階における活用方策	21
②小中学校の連携・接続	24
③中山間地域や離島等に立地する小規模校における活用	25
④更なる推進のための遠隔教育特例校制度の見直し	27
(2) オンラインを活用した学びへのアクセスを保障するための取組	29
①不登校児童生徒への対応	29
②義務教育未修了者・形式卒業生への対応	31
③働き方や生活スタイルの多様化への対応	32
IV. おわりに	34

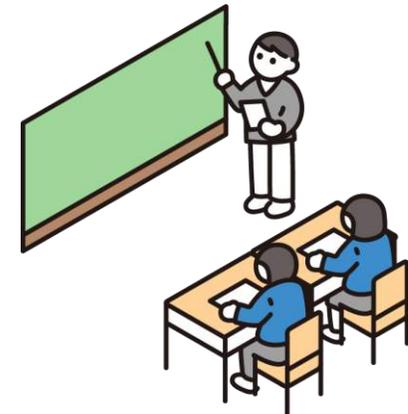
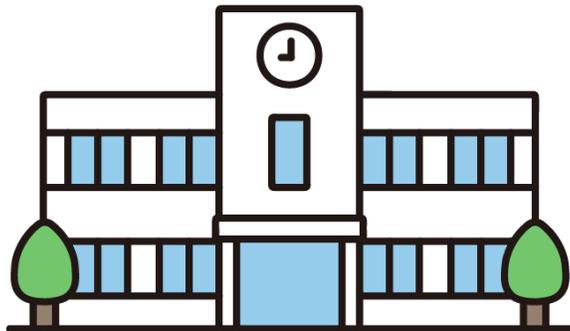
◎中央教育審議会「義務教育の在り方ワーキンググループ（中間まとめ）」 （2023年12月28日発出）に注目！

- ☑日本の学校は、(中略)学年・学級という**生活を共にする集団**の中で、(中略)
人間同士の**リアルな関係づくり**を子供たち相互の関係で学ぶ貴重な場(11頁)
- ☑「日本型学校教育の**弱み**」として、「全員を同じ「正解」に導くことを目指し」
過ぎている。「子供たちの行動を統制したり、管理したりする傾向」にある(12頁)
 - 正解主義的, 教師主導的, 予定調和的**と批判。
- ☑未来社会における学びは、**デジタル**や**オンライン**等の情報技術の進展によって、
より一層**空間的・時間的制約を乗り越えていく**ことが予想される(16頁)
- ☑「**学びにおけるオンラインの活用**」については、
今後の学校教育の展開の在り方に大きく影響する可能性を有する(3頁)

新たな「学びのカタチ」って・・・？

◎中央教育審議会「義務教育の在り方ワーキンググループ（中間まとめ）」
（2023年12月28日発出）に注目！

これからの義務教育の在り方として、
「リアル」（通学、対面、学級、集団等）を前提としながらも、
「オンライン」（ICT、遠隔授業、インターネット等）を積極活用する方針！



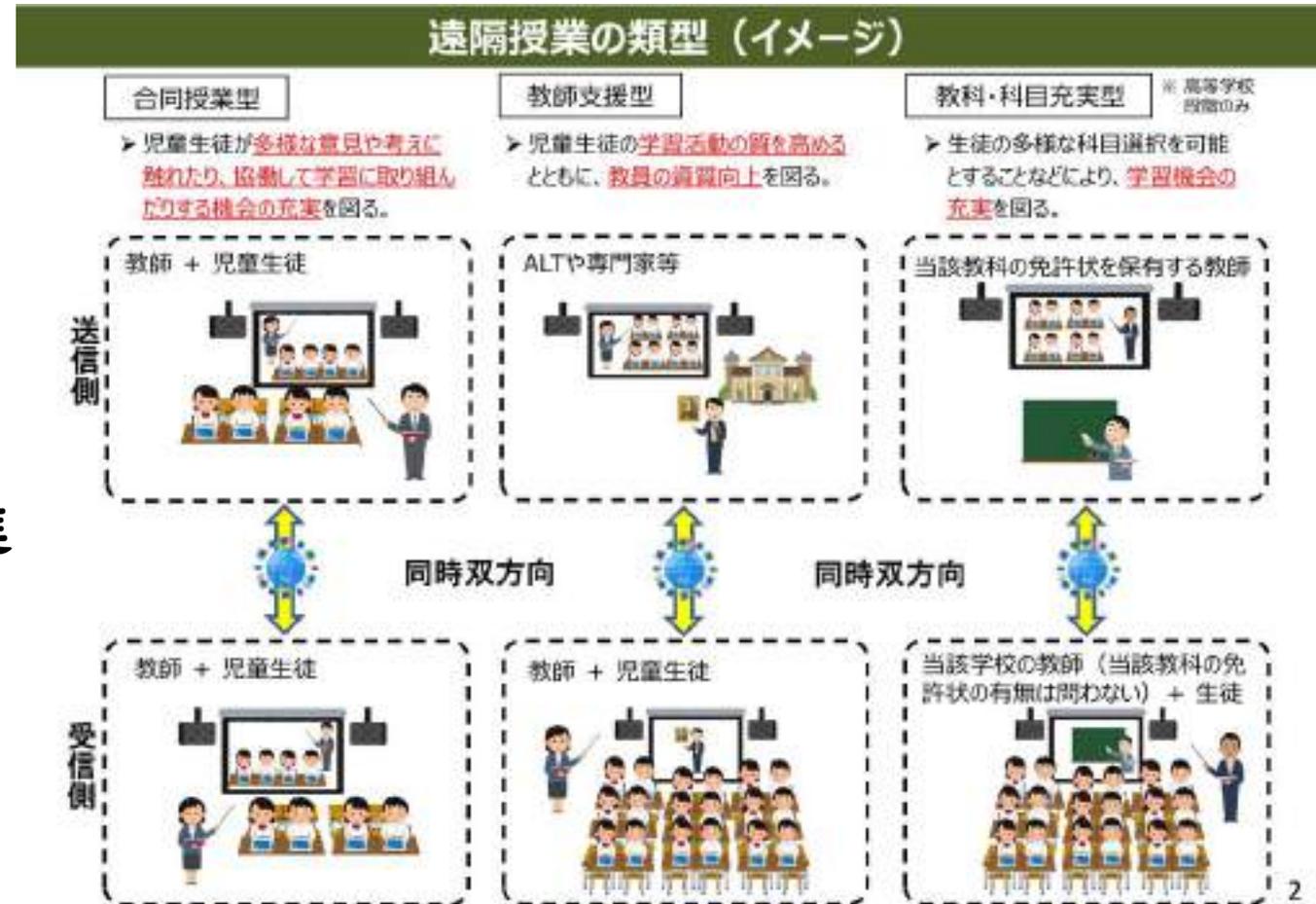
新たな「学びのカタチ」って・・・？

◎（国は）どのようなオンライン活用法を期待しているのか？

活用法① 遠隔授業での活用

- ・義務教育段階のオンライン教育の実施状況→**77.2%**（2022年度）
 - 過度に形にとらわれ過ぎない現場の創意工夫に基づいた柔軟な取組を推進
- ・遠隔授業の3類型が提示
 - （1）合同授業型，（2）教師支援型，（3）教科・科目充実型

⚠ 法令改正①



◎ (国は) どのようなオンライン活用法を期待しているのか？

活用法② 小中学校の連携・接続として活用

→ 学校段階間のギャップの緩和・解消, 子どもの発達の連続性を保障

活用法③ 中山間地域や離島などの小規模校での活用

→ 複式学級の解消, 多様な意見に触れる・交流する機会の保障 (cf. [徳之島町の取組](#))

活用法④ 多様な学びのアクセスを保障するための活用

⚠ 法令改正②

→ 不登校児童生徒に対するオンライン相談の体制整備,

教室外でのオンラインでの学習機会の整備・保障・認定

(=**指導要録上の「出席扱い」**), メタバース等の最新テクノロジー活用

義務教育段階における
オンライン等を活用した
教育（授業）に関する法律改正

義務教育段階におけるオンライン学習に関する法令改正

改正①：遠隔教育特例制度の弾力化（学校教育法施行規則第77条の2の改正）

「文科大臣による指定」を**不要**とし、**特別非常勤講師等の配置も可能**とした

遠隔教育特例制度とは

学校教育法施行規則第77条の2等に基づき、小規模の**中学校等**（※）において、当該教科の免許状を有する教師を確保できない場合に、生徒の教育上適切な配慮がなされているものとして、一定の基準を満たしていると文部科学大臣が認める場合、受信側の教員が当該免許状を有していない状況でも、遠隔にて専門性の高い教師による指導を可能とする「教科・科目充実型」の遠隔授業を行うことを可能とする特例制度。

（※） 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部

※受信側の教員が当該教科の免許状を有している場合は、申請等を行う必要はなく、各学校の判断で実施可能



改正②：学校教育法施行規則の一部改正（とくに第57条第2項の新設）

不登校児童生徒が**欠席中に行った学習成果を**
成績評価に考慮・反映できることを法令上に明確に位置づけられた
(令和元年文科省通知「不登校児童生徒の支援の在り方について」の実質化)

◎国の政策（法令改正）の動向をまとめると・・・

- ・既存の法令を改正（**規制緩和**，**弾力化**）することで，遠隔授業などの多様な学習機会を保障するための**制度的ハードルを下げよう**としている
- ・これからの学びにおいて，「**オンラインの活用**」は**不可欠である**との認識
→オンラインは特別なものではなく，**学びのツールの一つ**
- ・学校に教師と児童生徒が集い，共に学び，生活する中で子供たちの資質・能力を育ていく学校教育の役割・価値が最大限に発揮されることが重要
→義務教育段階での**オンライン活用は，学校や教師に代わるものではない**

▣教師はオンライン活用のチャンスを見つけたら**どんどんチャレンジ**していくべき！

ここで東広島市の事例を紹介!

デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校

「広域交流型オンライン社会科地域学習：教室や地域を飛び越えてオンラインが広げる未来」
特集：教育が地域を変える『TURNS』VOL.61，第一プログレス，2023年，32-39頁より一部引用



東広島市は全国に先駆けて学校教育のデジタル化に挑戦しています！



SIP

戦略的イノベーション創造プログラム

Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

SIP 第3期課題

「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

サブ課題A 採択課題



広島大学×東広島市×SoftBank

これまでの学び



- 大小様々な規模の学校の自立
- 知識・スキルの伝達
- 独立した教室空間
- リアルで固定化した関係
- 教師と子ども

Society5.0
の公教育

共同研究開発



これからの学び

- 規模の異なる学校の協働
- 公共的課題の対話
- 越境する教室空間
- デジタルによる柔軟な結合
- 多様な市民の包摂

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 第3期課題

「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校

1. カリキュラムの開発

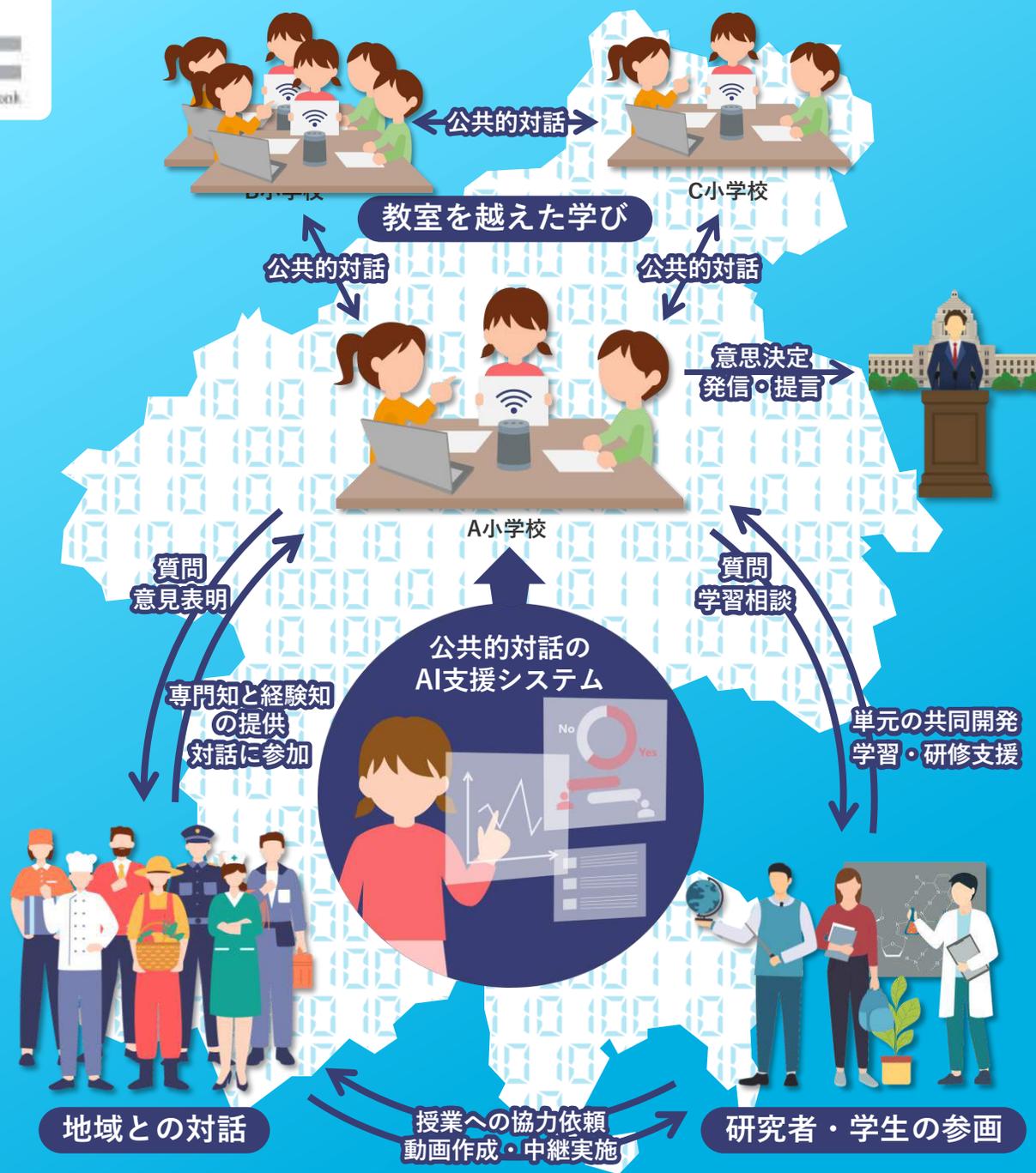
- デジタルを媒介にして①他者に考えを伝達し、②他者と意見を調整し、③他者としくみを構想し、④他者の提案を批評できるシティズンシップを育てます
- シティズンシップを育成するために、地域の公共的課題を取り上げ、対話します。そのための社会科&総合的学習の授業と教員研修プログラムをつくります

2. 社会基盤の開発

- デジタルを媒介にしてシティズンシップを育成する授業を保護者や市民に開きます
- 学校を拠点にして、地域の公共的課題について大人と子どもがともに学び、対話することのできるシティをつくります

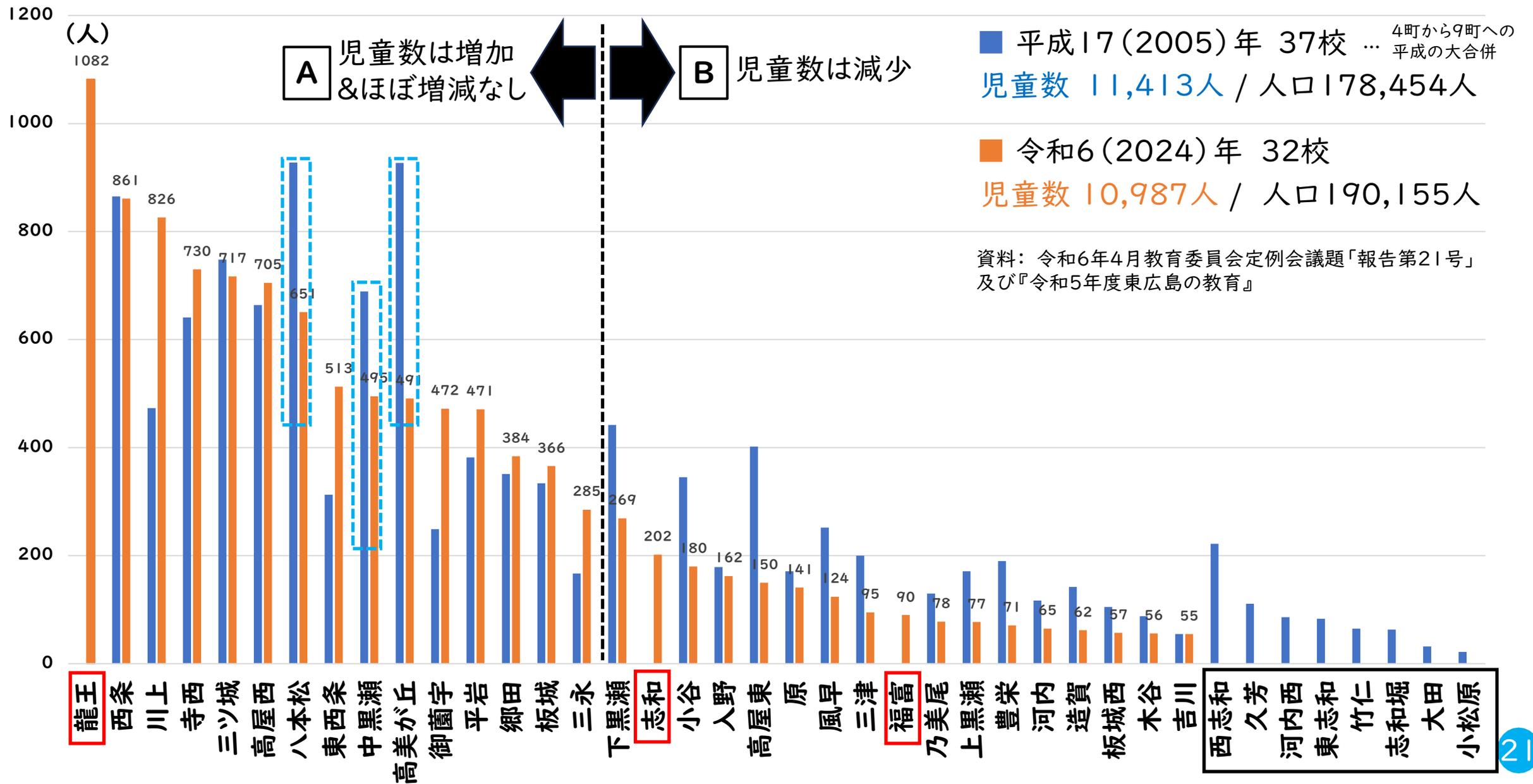
3. AI学習支援技術の開発

- 離れた学校・離れた教室の意見を自動で収集・分類し、結果を学習者にフィードバックするAIプログラムと装置を開発します。複数言語にも対応します
- AIが、学習者の意思決定や政策提言を支援するデータを提供します

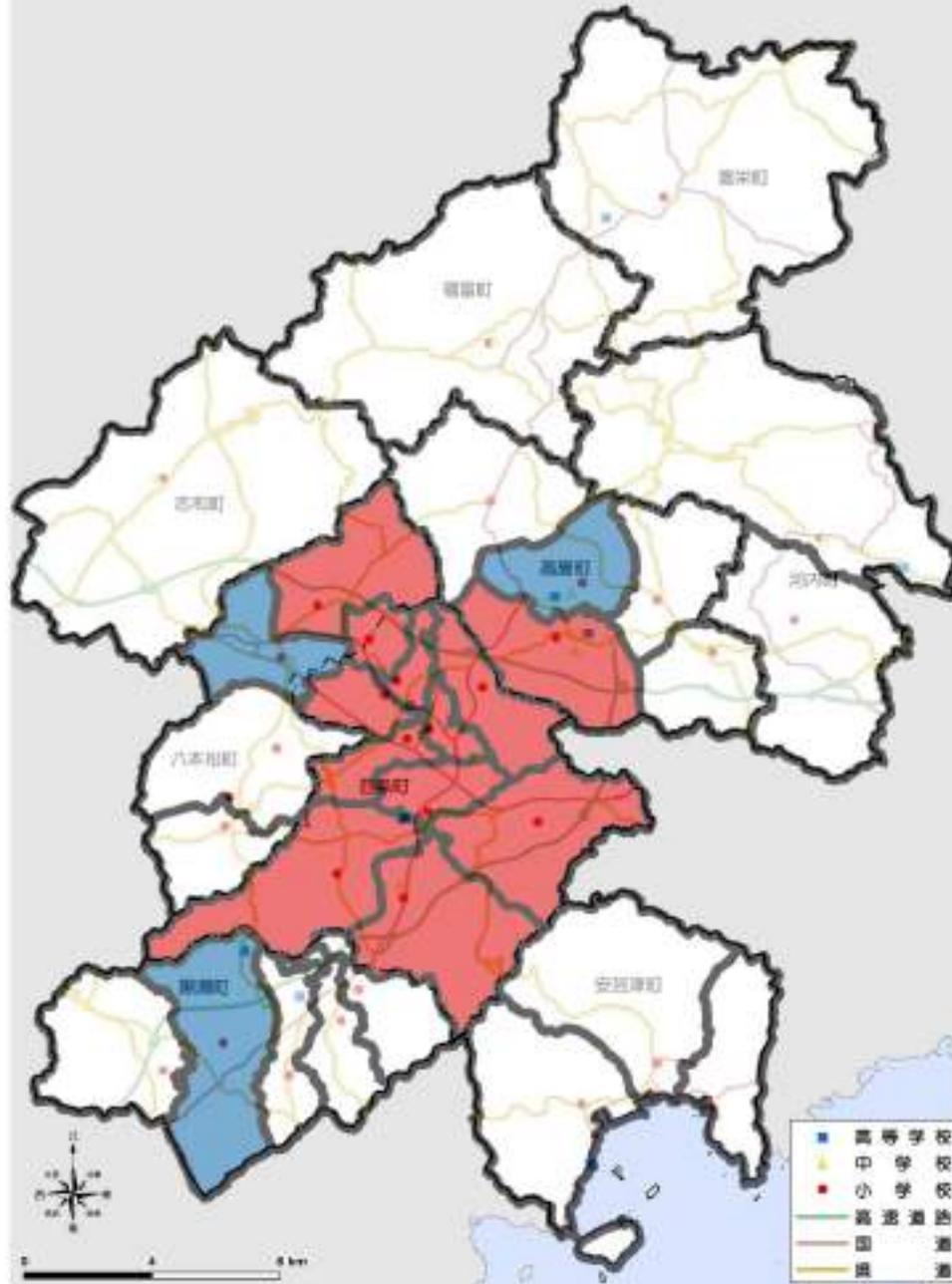


東広島市の学校・児童数 の移り変わり：偏在化の進行

歴史と現状－東広島市の小学校児童数の増減－



歴史と現状－東広島市の小学校児童数の増減－



A 児童数は増加
&ほぼ増減なし →赤色
急減 →青色

B 児童数は減少 →無色



だからこそ私たちは・・・！

どこでも, だれもが,
空間的格差や社会的断絶を越えてともに学ぶことができる
デジタル・シティズンシップ・シティ (DCC) をつくる

オンラインで・
バーチャルで結ぶ

意見・賛否の割れる
課題を対話する

多様な背景の子ども・
大人がともに学ぶ

N Networking between schools
学校を結びつける

I Initiating dialogue among schools
学校間の対話を促進する

C Creating digital public spheres
デジタル公共圏を構築する

E Educating democratic citizens
民主的市民を育成する



DCCへの道のり・スナップショット



授業実施までのながれ—大学×市教委×学校×地域・学生の連携—



2024年度の授業スケジュール

【押しポイント4選】

- ◎各学年・教科の年間学習指導計画に合わせて実施
- ◎単元の導入にも、まとめにも活用できる授業構成
- ◎使用した授業資料一式を提供！
- ◎次年度以降の教材研究に活用できる！

教科	学年	日程	時間	内容(予定)
社会	中1	5/14(火)	13:40~15:30	地理的な見方・考え方とは
社会	小5	5/15(水)	10:25~12:00	国土の地形と気候の特色 ~土地でできる作物を決めるのは、自然の力、人の力?~
社会	小3	6/12(水)	10:25~12:00	市の様子 ~私たちの町のとおきの写真をとって発表しよう!~
総合 特活 ほか	小3~6	6/19(水)	10:25~12:00	ことばと学級づくり ~やさしい日本語の「やさしさ」とは?~
社会	小6	7/3(水)	10:25~12:00	縄文のおらから古墳のくにへ ~大きなお墓。この価値を語り継ぐ案内板をつくろう!~
社会	中2	7/9(火)	13:40~15:30	歴史的な見方・考え方とは
社会	小4	9/11(水)	10:25~12:00	風水害からくらしを守る ~私たちは防災訓練だけで命を守れるか?~
社会	中3	10/22(火)	13:40~15:30	個人の尊重と日本国憲法 ~デジタル社会の課題~
総合 特活 ほか	小3~6	11/20(水)	10:25~12:00	ことばとグローバル化 ~外国語を「上手に」使いこなすってどういうこと?~
社会	小3	12/11(水)	10:25~12:00	事故や事件からくらしを守る ~
社会	小6	1/15(水)	10:25~12:00	日本とつながりの深い国々 ~外国をよりよく知るには、どうしたらよいか?~
総合 特活 ほか	小3~6	1/29(水)	10:25~12:00	ことばとコミュニティ ~外国語の案内板。どの言葉をのせる?たくさんのせる?~
社会	小4	2/12(水)	10:25~12:00	国際交流に取り組むまち ~私たちの町は外国人市民にくらしやすいか?~
社会	小5	3/5(水)	10:25~12:00	環境を守るわたしたち ~各地の公害の歴史を交流しよう。公害は解決したの?~

本日のまとめ

◎お伝えしたいメッセージ

東広島市の学校教育（とくに小学校）は、
新たな「学び」に対する**チャレンジの場**
としての可能性に溢れている!!!

ともに、新たな公教育をデザインしていきませんか💪

ご清聴ありがとうございます。公式LINE毎週金曜更新中!



広域交流の
これまでの
取組詳細は
コチラ→



公式LINE
「広域交流型
オンライン学習」
はコチラ→

